

## Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 7月 10日公開 シンガポールより

(日本時間7月10日午後11時～=シンガポール時間7月10日午後10時～)

皆さん、シンガポールよりこんばんは。わたしの後ろには素晴らしい夜景をご覧いただけます。まずは中東情勢アップデートをお伝えします。その後、Q&Aを行いますので、最後までご覧になりたい方は、最後までそのままで、中東情勢アップデートだけなら、最初の20～30分で終わります。



Figure 1 シンガポールの夜景をバックに

まずは、先週中東で起こった事についてと、私たちがすでに知っている事と結び付けていきたいと思います。では、2日前にシリアで起こった事から始めます。

出回っている大部分はシリアからの報道ですが、私の情報源からお伝えすれば、イスラエルの戦闘機が、ティヤス空軍基地、T4を攻撃しました。シリア中部、パルミラ市の隣に位置します。攻撃はロシアと共にしっかり調節されていただけでなく、武器庫や司令塔も含めて、あちらにあるイランの標的を、私たちはすべて取り除きました。



Figure 2 離陸する IAF の F-16 戦闘機

事実、T4 空軍基地は現在、運営されていません。通信システムや、塔を再建しない限り、再び使用することは出来ません。そこは、ほぼ全滅です。我々は自身の情報源から、T4 空軍基地は完全にイランが単独で使用していたことが分かったので、今の時点で、完全に使用不可能にしました。

勘違いしてはいけませんよ？

ベニヤミン・ネタニヤフ首相は、約束したのです。今ではほぼ毎日です。

「我々は、イラン政権がシリアに地位確立することは認めない。」

間違っははいけません。

イランは、自分たちの目的を隠しもしません。

革命防衛隊の副司令官であるフセイン・サラミ総督が、先月の演説でも言いました。

「シリア国内のイスラム軍は…」

これは、シリア国内のシーア派民兵から彼らが立ち上げている軍隊で、それが

「『悪の政権を根絶、イスラエルを根絶せよ』との指令が出されるのを待っている。」



彼らは公に出て、自分たちがシリアに軍事駐留していることを言っています。また、彼らは、レバノンのヒズボラと共に、アフガニスタンやパキスタンその他の場所から連れて来た兵士で、新しい民兵も立ち上げて駐留させ、

「ロケットの集中砲火を始めて、イスラエルを麻痺させろ。」

という、たった一つの命令に備えて待機させています。

Figure 3 フセイン・サラミ副司令官

言うまでもなく、このような事によってイスラエルが、レバノンだけでなくシリアに対して報復する可能性は大で、そこからイザヤ17章が告げている事へと展開するかも知れません。興味深いですね。

今日、イスラエルの防衛大臣が、シリアに警告しました。

「もし、彼らがシリア南部を占拠するなら、我々はまだ、1974年の相互合意を強制する。」

これは基本的には、我々の国境の向こう側の特定の地域に兵士が入ることを認めない、というものです。当然、イラン兵士はどこでも認めませんが、シリア兵士も、あの地域ではどこにも入れません。2日前に、ロケット発射物体が、イスラエル国境からさほど離れていない場所で見つかり、我々は直ちに、それを発射した大砲を破壊しました。

次にお伝えする前に、イスラエルに関する非常に良いニュースを二つお知らせします。

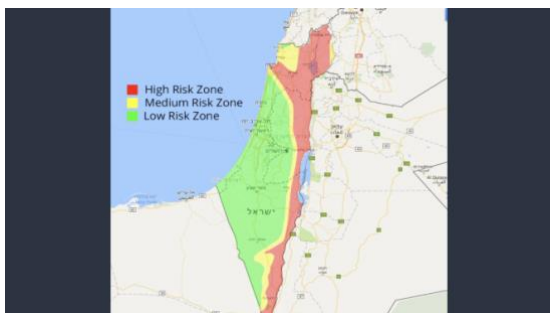
まず一つ目が、皆さん、準備は良いですか？

US News and World Report 誌の報告によると、2018年度の世界で最も力のある国、最良の国ランキングで、イスラエルは8位でした。8番目に力のある国です。私たちの上にランクされているのは、アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国、日本、それだけです（書記注：ここでは、6ヶ国しか言っていないが、4位にドイツがランクされている。）。イスラエルは8番目です。考えてみてください。彼らの土地面積や人口と比べれば、我々はほんのわずかです。それが8番目です。他のほとんどのヨーロッパ諸国やカナダ、オーストラリアよりはるかに上位ですから、すごい事です。彼らは、イスラエルを8位に決めた理由を聞かれると、比較的小さな国が、地球規模で大きな影響を与えたためだと言いました。非常に興味深いですね。ちなみに、世界舞台での影響力を計る指数として、外交、経済、軍事力が要因になっています。つまりこの三つ全てから、彼らはイスラエルを地球上で8番目に力ある国として位置付けたのです。

次にもう一つ、かなりすごいニュースは、アメリカ合衆国、ロシア、中国に次いで、イスラエルは最強の国三ヶ国に続いて、4番目に月に国旗を掲げます。

皆さん、イスラエルの宇宙船が、今年12月にフロリダ沖から打ち上げられます。Elon Muskが、スペースILよりプロジェクトを実地します。スペースILとは、宇宙船を開発したイスラエルの会社で、Elon Muskには、重量を軽くし、燃料消費を抑えるために、スペースXのファルコン9ロケットが搭載され、12月に打ち上げられて、軌道を回って2019年2月13日に月に到着します。我々は、月に国旗を掲げる世界第4の国となります。この2点は、かなりすごい事だと思います。

少し前にメッセージしましたが、まさに私たちは繁栄、安心、安全の面で「嵐の前の静けさ」の時代を生きています。聖書が告げている、エゼキエル戦争の直前の様子そのものです。そして私たちは、この分野で、非常に興味深いことを耳にしています。



次に、興味深いのは、イスラエルではこの一週間のうちに14回の地震が起こっています。

測定の仕方によっては、18回近くあったとも言われていて、このような事は以前にも数回ありましたが、毎日、新たに地震が起こっているようです。

今の時点では、マグニチュード3.2~4.3の間ですが、特に

Figure 4 地震の危険度を表す地図

震源地となったガリラヤ湖では、すでに防衛省と自治体とで緊急会議が開かれています。ガリラヤ湖の北東部です。では、なぜ、これがそれほど重要なのか？それは、神が間もなく中東で行われることのほとんどが、非常に興味深い形で地震と関連しているからです。

考えてみてください。

エゼキエル戦争の時、大きな地震が起こります。

そして、ゼカリヤ書 12 章、13 章、14 章の“ハルマゲドンの戦い”では、さらに大きな地震が起こります。これは二つの大戦争で、一つは地域戦争、もう一つは世界大戦ですが、この二つともが、神のご介入によって終わります。一つ目は、物凄い硫黄と雹が天から降り、そして地震が起こります。そして二つ目の時は、イエスが戻って来られ、彼の足がオリーブ山に降り立つと、オリーブ山は裂けます。ここで皆さん、覚えていらっしゃるでしょうか。イエスが十字架にかけられた時にも、興味深い地震が起こっています。その時、幕は裂け、東の門が開いて、それから墓が開いて、ある人々が死からよみがえりました。もちろん、長時間ではありませんでしたが、それでも物凄い事でした。

このように、神が何かをされる時、多くの場合、地震が伴います。

私の後ろで、光のショーが行われていますが、これは私にはどうしようもありません。すみません。

ということで、私たちは今、産みの苦しみである地震を目にしています。

私が、産みの苦しみとか、地震について話していると、後ろで光がチカチカしているのが面白いのですが。ともかく、これらは、我々信者にとっては、地盤さえも神の大きな御業に対して準備が出来つつあることを知る、一つの方法で驚きます。

というと、中にはこう言う人もいるでしょう。

「アミールさん、私たちはそれは受け入れないし、信じないよ。大体 100 年ごとに大地震が起こっているし、前回の大地震からそろそろ 100 年経ちますから。」

そうかも知れません。

ただ、地震と、イスラエル周辺の地政治的な出来事とをセットで見ると、我々は、あの戦争が近づいているのか？と思わされます。

これは、かなり驚きです。

次に、私は、Behold Israel のページで、タイ北部の洞窟に閉じ込められている、12 人のタイ人の少年たちのためにお祈りをお願いしていましたが、皆さんにお伝えしますと、彼らとの交信にイスラエルの技術が使われました。

Cave rescue hazards

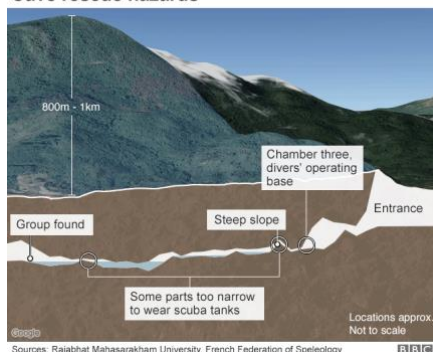


Figure 5 Figure 5 洞窟の内部構造 (左) と、救出された少年たちとコーチ (右)

電波のない場所にいる人たちと交信するために、イスラエルの会社が技術提供を求められ、タイに支店を持つイスラエルの会社によって、その技術が寄付されました。タイ当局がイスラエルの会社に問い合わせ、我々は喜んでそれを差し出したのですが、嬉しいことに一時間ほど前、12人全員とコーチが、ついに無事、平穩のうちに洞窟から助け出されました。そのことに関して、神をほめたたえます。

ということで、地震についてお話して、シリアでの警告、その他についてお話をしました。最後に私から皆さんにお話したいのは、以前、言ったことがあるでしょうか。

クリスチャンたちは、退屈すると必ず、さらなるしるしを求めて、天のしるしに走ります。ブラッドムーンもありましたし、9月のしるしもありました。そして今、又新しいものが登場していて、今度は7月28日の（皆既）月食です。皆さん、お願いします。どうかこのようなものには関わらないでください。しるしが何かを物語っている、と皆さんに吹き込もうとしている人たちがいます。私たちに日蝕・月食は必要ありません。こういったものは、常に起こっていますから。これらは指針ではありません。指針は現場で起こっていて、私たちは既にそれを目にしています。といっても、あらゆる天のしるしは、現地で起こっている事と一致しますよ？これらは物凄いしるしです。誤解しないでください。ただ、これさえも聖書が告げている事の一部に過ぎず、聖書が告げている事そのものではありません。

ですから、今一度、皆さんにお伝えします。

こういった“しるし”に希望を置いている人、日蝕のたび、ブラッドムーンのたび、後は何ですか？竜巻とか、地震とかのたびに、そこに希望を置いている人、どうか注意してください。私は、これまでもこういうのを見て来ましたから。人々がこういう事に希望を置いて、そして何も起こらないとどうなるか？何も起こらないと、皆、深く落胆します。これは、聖書が告げている事とは違います。

何度も言いますが、我々信者にとって、主の日の訪れる日や時間は、誰にも分からないことを覚えていてください。

もちろん、私たちにとっては、その日は、夜の盗人のようには襲いません。我々は、時と季節を知っていますから。

だから私たちは備えをしているわけで、

だから私たちは今、こんな風にアップデートをしているのです。

だから私たちは、全ての屋上から叫んでいるのです。全世界に告げているのです。

今は、終わりの日々だ！

今は、終わりの時だ！

備えをせよ！と。

私たちは、他の人たちのように眠りません。

私たちは、見張り人として人々に告げ、そしてこの終わりの時、福音を広めて義務を果たすのです。

私たちはそれを覚えておかなければなりません。

そして同時に、私たちはいつもこのような天のしるしにだけすがり付き、私たちに告げられている、神のご計画全体から完全に離れてしまって、自分を欺いてはいけません。

どうか皆さんは、そのような罠に嵌らないように気をつけてください。

最後に皆さんにお伝えしたいのは、先週もお話しましたが、今日はさらに情報がありますので、それをお伝え

したいと思います。

ヨーロッパが、イランの大統領を招いて、未だにイランを助けることについて会談していた時、ネタニヤフ首相がヨーロッパの偽善について暴露しましたが、このたびドイツが、3億ユーロ分のイラン通貨をイランに出すことを検討しています。想像できますか？この3億の全てが、直ちにテロに行くのです。そのことは、私たちの全員が知っていますが、イランもそれを認めました。イラン国民が、それに反対してデモを行なっているのです。皆、それを知っています。それなのに、ドイツはそれを検討中。ヨーロッパの指導者たちは、彼らがイランを助けなければ、イランが暴露することを知っているのか？と私に聞かれるなら、彼らは賄賂を受け取っていますから。彼らはそれぞれの国の経済の見積もりを、イランから得るお金を基礎にしていますから。だから彼らは、トランプ大統領に激怒しているのです。ところで、さらにどんどん多くの企業がイランから撤退しています。

オランダの航空会社 KLM が、今や、運航を取り止めました。

運送会社は、次から次へとイランを見捨てています。

皆が、アメリカの政策を恐れているからです。

8月8日より始まる制裁では、イランと取引をする会社には全て、非常に重い制裁が加えられるのです。現在、8月は、イランに差し迫っている最悪の月です。そしてイランは、それを分かっています。だから彼らは7月のうちに、ヨーロッパに手を打たなければならないのです。これが面白いことに、イランはヨーロッパでのストに対処しながら、同時に他の目的のために、ヨーロッパ国土にテロリストを送り込んでいるのです。

皆さん、毎年パリで行われている、イランの自由集会に反対する嘆願に対して、イランはテロ攻撃を実行しようとしていて、その新たなイランの作戦を、イスラエルが暴露しました。これが物凄く興味深くて、ベルギーの法務長官が、爆破物や起爆装置、爆弾そのものを持った男女を逮捕したことを認めました。彼らは、犯行に向かう途中だったのです。さらに彼らは、イランの外交官も逮捕しています。つまり、イランの外交官やイラン人たちがヨーロッパ国内にいて、テロ攻撃を企んでいるのです。そして、そのテロ攻撃の対象は誰だと思えますか？イランの自由に反対する嘆願者だけではありません。スピーカーに対してもです。

そして、今年のスピーカーとは、誰だと思えますか？

ルドルフ・ジュリアーニ（書記注：元ニューヨーク市長 在任 1994～2001）と、ニュート・ギングリッチ（アメリカ合衆国元下院議長 在任 1995～1999）です。

ルドルフ・ジュリアーニとニュート・ギングリッチ。

想像できますか？

イスラエル諜報が策略を暴露し、直ちにフランスとベルギーに警告しました。

当然、アメリカにも伝えていきます。

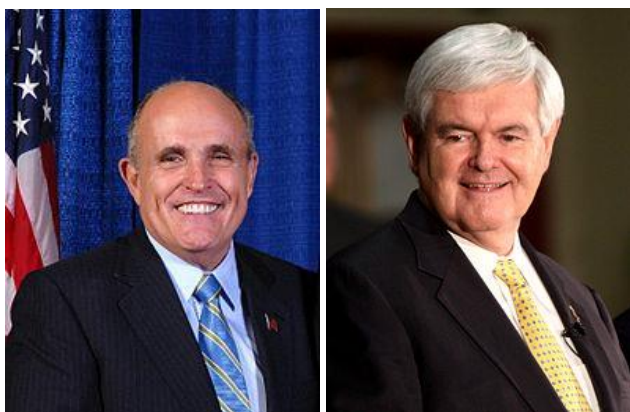


Figure 6 ルドルフ・ジュリアーニ（左）とニュート・ギングリッチ（右）

それに対して、我々がヨーロッパから受け取ったものは？

批判とボイコット。そして彼らは、イランを完全にボイコットする代わりに、イランを助けています。

これが、ヨーロッパから我々に返って来たものです。だから、これらの人々がイランに執着していることが、私には分かるのです。あちらの指導者たちには、個人的な問題があります。彼らは、この中にやましいこと

があるのを分かっている、それを隠蔽しようとしているのです。

以上が、基本的にこの一週間ほどの間で起こった事です。

つい先ほど私がお話した、地震について考えてみてください。

それから、世界中でイスラエルの力がどんどん増していることについて考えてみてください。そして実際、それが他の国にとってどれほどの脅威となっているか。

イスラエルがシリアに与えた警告について考えてみてください。

イランに対してではありません。シリアに対して、です。国境から離れよ、と。

イランがシリア国内で軍隊を結成しているとの警告が、イランから我々のところに届いています。そして、彼らが攻撃を仕掛けた瞬間に、当然イスラエルは報復します。

これら全てについてよく考えて、全部を繋げてみてください。

そうすれば、エゼキエル戦争直前であることがよく分かるでしょう。

とても興味深いです。常に目を見開いて、耳を開いて、我々の生きている時と季節を理解しましょう。

以上です。その前に、もう一つお伝えしておきます。

私たちのフェイスブックページ Behold israel または、YouTube チャンネル「Behold Israel/ビホールドイスラエル」を訪れて、フォロー、ページ登録を行なってください。YouTube チャンネルでは、今後さらに多くの言語が加わります。

また、イスラエルツアーのお申し込みは、すでに三分の二が埋まりました。ですので、2月と12月をご希望の方はお急ぎください。皆さんにとって忘れられない経験になるでしょうから。それからもう一つ。若者ツアーに向けて、さらなるご献金をいただいたので、さらに多くの若者に、奨学金を提供したいと思っています。イスラエルツアーに関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。BeholdIsrael.com です。そこからお問い合わせもしていただけます。

では、アロンの祝福でこれを終わりたいと思います。

その後、Q&Aに入ります。いくつかご質問をいただいていますので、それらに出来る限りお答えいたします。

では、皆さん全員に、アロンの祝福をお祈りして、終わらしましょう。

	ヴェイシエメレハー		アドナーイ		イエヴァーレフハー	
	וְיִשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
	ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	ヤーエール	
	וַיַּחַן	אֵלַיְךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר	
	..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし	
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナーイ	イッサー
שְׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׁם	אֵלַיְךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー アドナーイ ヴェイシエメレハー  
 ヤーエール アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴィーフネッカー  
 イッサー アドナーイ パーナーヴ エーレーハー ヴェヤーセーム レハー シャーローム

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。  
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。  
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

主のシャローム、私たちの理解をはるかに超える平安、平和の君、平和の主だけが与えることのできる平安が、  
 今も、とこしえに、ここにいても、どこにいても与えられますように。イエスの御名によって。アーメン！

アーメン！

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

#### 【写真出典一覧】

シンガポールの夜景をバックに：動画より

離陸する IAF の F-16 : World Israel News “Report: Israel strikes Iranian forces at Syrian airbase” 2018. 7. 9

フセイン・サラミ副司令官 : Wikipedia “Hossein Salami”

地震の危険度を表す地図 : Ynet news.com “Expert warns major earthquake expected soon” 2018. 7. 8

洞窟の内部構造と、救出された少年たちとコーチ : BBC “Thai cave rescue: How the boys were saved” 10 July 2018

ルドルフ・ジュリアーニ : Wikipedia 「ルドルフ・ジュリアーニ」

ニュート・ギングリッチ : Wikipedia 「ニュート・ギングリッチ」